

ことばだより

清瀬第六小学校 ことばの教室

令和6年9月2日発行 第3号

清瀬第六小学校 校長 長友 慎吾

長かった夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まりました。子供達は、どんな夏休みを過ごしたでしょうか。家族と出かけたり、家でのおんびり過ごしたりと、過ごし方は様々だったと思います。今から夏の過ごし方について話をするができることを、とても楽しみにしています。

2学期は、学校生活の中でも一番期間が長く、様々な行事があります。こうした行事の中でも、自分の力が十分発揮できるよう、今学期も支援に努めていきます。どうぞよろしくお願い致します。

★ことばの教室に通っているお子さんの相談内容から、今回は「吃音（きつおん）」について特集します。

吃音とは？

- ・「話すときに、ことばが滑らかに出てこないこと」です。
- ・吃音のある人は、世界中どここの国でも、100人に1人程度の割合で存在します。
- ・吃音のある人の中にも、俳優やアナウンサー、大統領などとして活躍している人がいます。
- ・吃音のはっきりとした原因はまだ解明されていませんが、体質によるものや急激な言語発達の影響など、複数の要因が組み合わさって生じると考えられています。保護者の接し方やストレスによるものという考えは誤りです。
- ・症状は一人ひとり異なり、増えたり減ったりの「波」もみられます。
- ・言語面だけでなく、心理面や行動面にも意識して対応する必要があります。

吃音のタイプ

音を繰り返す（連発）

あ、あ、あ、あのね



音を引き伸ばす（伸発）

あ————のね



音がなかなか出てこない（難発）

…………あのね



吃音のある子どもとの接し方

- ・子供と同じか、少しゆっくり位の発話速度で話し、ゆったりと接します。
- ・「ゆっくり話してごらん」「落ち着いて」など、発話に対する注意や規制は避けます。
- ・話し方ではなく、話の内容に注目して、聞いてください。
- ・子供が話しているときは、相づちやアイコンタクトを返しながらか、子供の話を最後まで聞きます。
- ・子供の言いたいことが分かったとしても先取りせずに、本人の話を待つようにしてください。

裏面へ

吃音は環境で変わる！

吃音は環境によって、状態が変わるものです。周りの人が児童のことを理解して、児童がのびのびと過ごしやすい環境を維持することが大切です。

○吃音が出て「最後まで伝えられた」という成功体験をすることが大切です。

○クラスみんなが吃音のことを知っていると、話を最後まで聞いてくれるので、話すのが楽だと感じる児童もいます。

○児童によっては、音読や日直、学芸会、発表会など苦手な場面があります。その際の対応については、本人や保護者の方と先生が相談して決めるようにしてください。

★ 2 学期の予定 ★



9 月	9 日 (月) ~	ことばの教室 指導開始
	10 日 (火)	都難言専門研究会 (午後の指導はありません。)
	19 日 (木)	午後の指導はありません。
10 月	8 日 (火)	都難言ブロック研究会 (午後の指導はありません。)
	15 日 (火)	都難言専門研究会 (午後の指導はありません。)
	15 日 (火) ~ 19 日 (土)	面談週間
	21 日 (月)	全日指導はありません。
	25 日 (金)	午後の指導はありません。
	28 日 (月)	全日指導はありません。
11 月	5 日 (火)	都難言ブロック研究会 (午後の指導はありません。)
	6 日 (水)	午後の指導はありません。
	7 日 (木)	午後の指導はありません。
	26 日 (火)	都難言通級指導学級研究会 (午後の指導はありません。)
12 月	2 日 (月)	全日指導はありません。
	3 日 (火)	都難言ブロック研究会 (午後の指導はありません。)
	20 日 (金)	ことばの教室 2 学期指導終了



ことばに関して気になること、ご相談したいことなどがありましたら

清瀬第六小学校 ことばの教室 042-493-4316

または教育委員会 指導課教育支援係 (042-497-2552) までご連絡下さい。